

高橋 幸博

日本空港ビルディング株式会社 スポーツツーリズムプロデューサー

一般社団法人北海道サイクルツーリズム推進協会 代表理事

長崎県大村湾 ZEKKEI ライドアドバイザー

サイクルツーリズム北海道推進連絡協議会 構成員

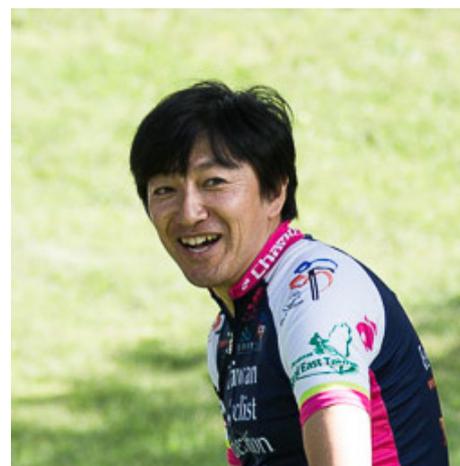
インターナショナルサイクリングツアーガイド (台湾 FLCA)

インターナショナルスキーコーチ・コンシェルジュ (カナダ CSIA)

そらち魅力発信コミュニティ 代表 (まちづくり事業: はまなす財団)

そらちバイシクルプロジェクト 副代表 (自転車を使ったまちづくり)

株式会社 ARCH・ヒーロー北海道 代表取締役



北海道美唄市出身。NISEKO 地区倶知安町在住。元地方公務員 (美唄市土木技術専門職)

<海外観光客に向けたスキーとサイクリング受け入れとブランディングと地方創生>

2003 年身を置いていた土木業界の公共事業削減を目の当たりにし、地方の価値を創出すること志とし、NISEKO 地区の倶知安町へ移住する。夏はカヌー、リバーフィッシングガイド、冬は英語でのスキーインストラクターとしてニセコでの四季のアウトドアガイドとしての研鑽を積む。2004 年ニセコのオーストラリア資本スキーリゾート HANAZONO のインターナショナルスキースクール NISS の立ち上げに関わり、初年度からインターナショナルスキーインストラクターとして勤務。2007 年独自のインターナショナルスキースクールとコンシェルジュサービスブランド HERO HOKKAIDO を設立する。

2008 年ニセコの最大規模のコンドミニウムマネージメントのマーケティングマネージャーとして勤務。国内外プロモーション、英語で海外セールス、海外のスキー関連の顧客、ニセコの投資パートナーをフォローする。同年に自信のブランドにインターナショナルサイクリングガイド事業加え、株式会社 ARCH (アーチ) として事業開始。ニセコ地区の閑散期であるグリーンシーズンに滞在型のサイクリングイベント、NISEKO CYCLE WEEK の事務局長としてブランド立ち上げに関わり、DMO と DMC の役割に関して関連事業デザイン、運営を行う。

以降 10 年に渡り、サイクリングツアーコンシェルジュ事業を運営。台湾、香港、シンガポール、タイ、オーストラリア、アメリカなど海外に向けた日本のサイクリングブランド発信を絡めた海外プロモーション事業を多数プロデュースする。日本のサイクルツーリズム事業としてサイクリングイベント、キーパーソン招聘、メディアプロモーション、海外旅行博でのコンセプトをプロデュースし、地方創生事業で全国展開化する基礎を作った。

2014 年から 3 年間に渡り、北海道後志管内岩宇 4 町村 (岩内町、共和村、神恵内村、泊村) のちいきのじまんづくり事業(経済産業省)のプロデューサーとして従事。ニセコでの海外観光客向けのブランド化、ニセコから岩宇地区への外国人着地ツアーとメディアプロモーション等をプ

ロデュースする。海外の富裕層のネットワークが世界中にあり、またニセコでケアをしてきたことから付加価値の高い観光コンテンツを地方の向けにプロデュースする造詣が深い。

<スポーツを使った地方と中央、海外との事業プロデュースへ>

2017年スポーツツーリズムと文化、観光コンテンツを使った地方創生事業の為、日本空港ビルディング株式会社(羽田空港)のプロデューサーに就任する。第一回長崎県大村湾 ZEKKEI ライド(10市町を巡るサイクリングイベント)において、羽田空港と地方の活性化を目指す為の事業をプロデュースする。2020年東京オリンピック・パラリンピックを機に地方と東京、世界をスポーツ、文化、観光で繋ぐ事業をプロデュースするべく、「スポーツツーリズムが果たしてきた地方観光ブランドとネットワーク作り」に関する講演会、フォーラム、勉強会に述べ50回以上招かれ、参加人数は合計5,000人を越える。業界紙、インターネット記事でも紹介多数。

<観光教育と人材育成の場づくり、観光プロジェクトの基礎の立ち上げ>

2014年から4年間に渡り、台湾の観光を学ぶ大学生のインターンシップ受け入れを地方自治体と観光事業者、NPOに対しプロデュース。台湾の大学生の受け入れメニュー作りと学生の学びの場を地方に創出し、インバウンド受け入れの基礎を事業者、関係者にも学ぶ場を創出している。2016年中小企業庁のふるさとグローバルプロデューサー事業においてでの企業研修生(OJT)の受入を実施し、造詣の深い台湾の富裕層、旅行業界、自転車業界、協会等から学びの場を創出してきた。2017年同事業の国内版のOJTを受け入れしている。

2011年北海道美唄市にて高橋幹夫市長と台湾の自転車協会との定例の交流を通じ、サイクルツーリズムそらち推進連絡会(8自治体)の設立を提案、アドバイザーに就任した。

2014年空知ブランディング事業とした初の食とサイクリングのイベント「北海道そらちグルメフォンド」をプロデュースする。以後、美唄市のサイクリング愛好家に自信のプロサイクルガイド、英語を使ったコンシェルジュ、海外、国内のサイクルイベント、ガイドツアーのリスクマネジメントについて積極的に知見を共有し、2017年10回に渡るボランティアの為のサイクルガイド養成講習会を美唄市で実施し、同市初のサイクルイベントに関わるスタッフ育成と愛好家と行政事業の垣根を取り払う場作りと人づくりに尽力している。

2016年にはECF(European Cycling Federation)主催のアジア初の自転車国際会議Velo City Globalの日本、台湾、欧州諸国のコーディネーターとして、日本企業、日本の自転車を使った新たなまちづくり事業に関する橋渡しを行う。地元北海道美唄市の市長が行った自転車を使ったまちづくりに関する講演、紹介された事業のプロデュースを行い、英語での通訳を行う。

2017年日本空港ビルディングスポーツツーリズムプロデューサーに就任。

2018年4月一般社団法人北海道サイクルツーリズム推進協会代表理事に就任。